

議 事 録

- 1 会議名 第2回さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議
- 2 日 時 平成27年7月6日(月) 15時～17時
- 3 場 所 さぬき市役所3階302会議室
- 4 出席者 (委員)
朝倉委員 石川委員 岩村委員 公庄委員 佐藤委員 多田委員
徳地委員 福家(弘)委員 福家(良)委員 六車委員
(市)
菊池副市長
総務部政策課 白井課長 津村係長
- 5 傍 聴 4名
- 6 会議次第 1 開会
2 座長挨拶
3 議事
(1) さぬき市人口ビジョン骨子案について
(2) さぬき市創生総合戦略骨子案について
4 その他
5 閉会
- 7 配布資料 ○ さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿(平成27年6月26日現在)
○ 【資料1】さぬき市人口ビジョン骨子素案(現状分析・将来推計)
○ 【資料2】さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子案
○ 【資料3】有識者・職員提案一覧

8 議事の経過及び発言要旨

| < 開 会 > (15:00) | |
|-------------------|--|
| 事務局 | 失礼します。本日はご出席いただき、有難うございます。会に先立ちまして、委員の異動についてご報告させていただきます。中国銀行の志度支店長、山名利一委員様が転任されましたので、後任の徳地信弘様に引き継いで委員をお願いすることになりましたのでご紹介をさせていただきます。 これより第2回有識者会議を始めます。座長から御挨拶いただき、続いて進行をお願いします。 |
| 座長 | 前回から早2か月あまりとなりました。将来人口分析などの作業が進みました。総合戦略につきましても職員からのアイデア募集からはじまり、委員の皆様からのご提案をもとに、新たな取組をもとに骨子草案を取り決めました。本日は、先日事前送付させていただいた、これらの骨子素案の内容をご確認いただき、またこれをたたき台として色々ご意見を伺いたいと思います。今回のポイントは、1つは事務局から人口移動についてのお知らせと、2つ目は事前に配布した総合戦略の中のところの具体的な案を優先順位としてまとめたいと思います。5時終了を目途にします。早速ですが、机上に配布されています、取扱注意、人口骨子の基礎データ回収の地区別人口デ |

| | |
|-----|--|
| | <p>一タについて見ていきたいと思うので、事務局は説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p><説明></p> |
| 座長 | <p>ありがとうございました。人口の推移はあくまで見込ですが、この流れを念頭において施策を考えなければいけないと思いますし、市全体として、まずは今後5年間の総合戦略を立ててしっかりと組んでいくことになります。もちろん、立てただけで終わっては意味がないので、検証作業を毎年行うこととなっています。</p> |
| 委員 | <p>2060年を念頭におきつつ、当面は5年間をどうするか考えるということですね。人口ビジョンの骨子は読み方が難しいですが。</p> |
| 委員 | <p>地区別にこだわるわけではないのですが、原因、要因があると思います。長尾地区の減り方がそうでもないなので、議論のポイントになる要素があれば教えてほしいです。</p> |
| 事務局 | <p>過去4回の国勢調査結果に基づいた変化率で計算しています。人口の自然増減についても、国勢調査では5歳刻みで構成されているので、それを統計的に変化させて出しています。長尾地区については社会増減もそれなりにあり、自然減もそう多くはなかったという過去の経緯から、現状維持ができるデータになっています。逆に中山間地域と母数の小さな地域は変化率の違いを大きく受けるので、15年間の変化率をもとに計算すると大分減ります。繰り返しますが、今までの減り方を継続した場合のみ、そのような結果になるということですので、今後目指すべき方法を考えた場合、とか、設定によって数字は大きく変わるので、ひとつの分析結果として参考程度でお読み取りいただきたい。</p> |
| 委員 | <p>長尾地区の人口移動の要因はなんですか？</p> |
| 事務局 | <p>要因としては、近年志度山川線沿線に商業施設ができ、宅地化が進んで集合住宅ができており、これは、人口の側面では大きな変わり目となっていると考えています。</p> |
| 委員 | <p>高松市に流出が多い、その内容というのは、何か調べましたか。特徴があるとか。</p> |
| 事務局 | <p>正直、要因分析については具体的などころまでできていません。今後、総合戦略を策定するときの各部局との協議の中で、担当課として感じていることなどを聞き取りながら、人口減少に関する要因について考えていきたいと思っています。ただ、高松市に人が出ていくということに関しては、家から職場が近い、とか、高松市というブランドがよいというのを、周辺の若い世代の人の感想として受けております。それがすべてだとは思っていませんが、そういったものもあります。</p> |
| 委員 | <p>ビジョンの中に、「国のデータベース」って書いていますよね。あれを今度駆使して人口の異動や昼間の人口などを調べれば、さぬき市だけではない県の問題といった、そういう問題になりうる気がします。</p> |
| 事務局 | <p>県の人口の減りより、何故さぬき市の人口の減りの方が早いのかということについても考えながら、さぬき市としての戦略を立てていきたいと思っています。ビッグデータも見ていきます。</p> |

| | |
|----|---|
| 座長 | <p>他になければ次に進んでもいいでしょうか。続いての議題、さぬき市総合戦略骨子案についてですが、事前配布資料は読んでいただいていると思いますが、まずは、私の理解で話しますと、資料2の5ページですが、人口ビジョンを踏まえた項目を掲げてから、大きな基本目標を定めています。働く場所と人の流れ、子育て、安心して住める地域の4つの基本目標に関して、具体的な施策として、委員、市の職員から提案してもらった、ものすごくたくさんの中からピックアップして書き込んでいます。とはいえ、量としてはかなり多いので、事前に連絡していたとおり、この中からそれぞれ3つ程度、分かる範囲で法律や予算など物理的制約等も絡めて考えながら、実行可能なものや時間がかかってもやっていくべきであるというものを施策として絞るためのご意見を伺いたい。これが、案内文にもあった「実行可能な観点で」という意味だと私は解釈している。理想ばかりを追うわけにはいけないのでなかなか難しいところもありますが、期間は5年間あるといっても、できれば最初の数年で効果に影響がでるようなものを選んで、かなり思い切った絞り方をしていかなければならないと思っています。長くなりましたが、今日は、具体的な施策について、思い切って絞っていく、または、絞り方についての考え方を委員の皆さんからお聞きするのが目標です。では、早速ですが、4つの基本目標に書かれている内容について、委員の皆さんのご見識ある分野のみでもかまいませんので、それぞれ5分程度でご意見をお願いしたいと思います。</p> |
| 委員 | <p>膨大な内容で、いっぱい考えてはみたのですが、すぐに出来ることというのはないのですが。</p> <p>例えば、資料3の35～38は、プランを活かした総合プロジェクトで、それと同じようなものとして、109、112番にさぬき市地域資源活用事業、地元旅行と書いてあります。121番に関しては、市が現在持っている観光資産を何とか活かすための政策が出されていますが、私は、JCBや日本旅行などの旅行会社に、旅行商品を作るコーディネーターがいると思うので、さぬき市が人を呼ぶのではなく、旅行会社に対して市の観光資源を伝え、見てもらって旅行商品を作ってもらえばどうか。プロのアイデアを聞く中で、市がやるべきことが定まれば、モニターツアーをやってみてもよいと思う。現在、人々の旅行は、名所・旧跡の観光旅行ではなく、何かをつくるといった、体験型の旅行が流行っている。結論から言えば、今ある地域資源をどう活かせば人が来てくれる商品にできるかをプロに考えてもらい、市は、その実施の手助けをすればよいのではないだろうか。</p> <p>ついでなのでもう一言言わせてもらおうと、沢山ある中で、goodと私が書いてあるのが、102と104です。102のところで気になったのは、色々施策もしているけれども、現在やっていて必要な取組かどうか、しっかりと検証しているのかなと思う。そういうことをしないで、ちびちびお金を使っていると、無駄遣いになってしまうのではないか。この戦略とは別として、検証しないと何をしているのか分からなくなると思います。それから、93番と95番について、この95番は学校と連携したと書いてありますが、学校でやるように要求すると学校の先生は絶対反対します。廃校か公共施設で、使わなくなったものを利用して、これだけのことが旧小学校単位で盛り上げれば、自然と活力がでてくるような気がしました。以上です。</p> |
| 委員 | <p>金融機関に関係した提案をすると、この総合戦略の具体的政策の中でいうと、地域資源を活用した、商工業、農業、工業があげられます。具体的には、資料3N070の2番目の地域循環型創造事業として、総務省で、まち・ひと・しごとの前から継承されている、地域経済の再生に関する補助金制度があります。この補助金制度を利用できそうな案件を5年間のうちで取り組む目標にすればいいのではと思う。正式名称は、地域経済循環創造事業交付金で、地域において1次産業を中心に新たな産業を興</p> |

| | |
|----|--|
| 委員 | <p>すもので、金融機関、研究を行う大学の提案をもとに、補助金を受けて事業を行っていくというものです。何故これがさぬき市にとって有利かという、さぬき市は既に創業支援事業計画書を策定し、提出していて、もう承認をもらっている。県内では三豊市とさぬき市だけなので、優位性がある。地域密着型の企業、農業、漁業を支援、進行していくのにかなり優位な制度といえます。策定に関しては十分に金融機関がアフターフォローをさせていただいて、地域経済イノベーションサイクルをまわすということで、ローカル 10,000 プロジェクトということで、総務省は以前からやっています。今回は、一事業当たり 5 千万円の補助金が出るので、その案件をこなすことも組み入れたほうがいいのではないのでしょうか。これには、地域の商工会議所や大学、金融機関などが連携しないといけないが、連携できると思っている。そういうのは比較的、目標の達成度が計りやすいとも思う。地元で雇用を生むし、名産になれば加工業者、商工業者、販売業者自体も潤うので、5 年間でそういった案件に何件か取り組むことを提案します。今までできていないことは、総括というか検証というか PDCA をまわしていないと思う。PDCA をまわして検証することを金融機関としてもお手伝いしたいし、独自の情報もあります。それをフル活用させていただいて、有識者に数値を見ていただいて、自分たちがしっかりと総括できるように考えることが大事だと思います。</p> <p>福祉の関係で事業をおこなっておりますが、雇用ができ、子育てができ、食が満たせれば、住環境が整っているということになりますが、将来に渡ってそこに人がいるかは問題ですので、人口減少対策は急務だと思います。基本目標 2・3・4 に横断的に関連することを 3 つ申しあげたいと思います。1 点目ですが、人が生活する上で、雇用を考えなければなりません。県内の雇用の約 2 割、女性で考えると約 3 割が医療・福祉関係に携わっています。今後の高齢化を考えても、ますます雇用が高まると考えられ、この領域で働く方々が働きやすく、子育てしやすい環境を整備することがいいのではないかと思います。よって、新規や既存の事業所の事業所内託児所の整備や運営補助の拡充を行わなければならないと思います。いただいた資料の中では、0 歳～9 歳の転入が非常に少ないのは雇用と子育て支援に乏しいことが原因だと思います。一方で、学校や保育所を設立するには経費がかかり、人手不足もあるため、市場としては縮小するであろうということで拡充はありえないため、事業所内での託児所を整備して、職員の働く環境を良くするということが基本ではないのでしょうか。高齢化が進み、福祉の需要が高まることは避けられないので、医療や福祉の事業所で働くすべての人々が、地域で子育てできる場をさらに創出すべきではないのでしょうか。市内や県内にある施設や、今後整備される介護施設などが事業所内託児所を設立・運営する場合には、積極的に許可をおろすことが必要なのではないのかと思います。2 点目ですが、市内からの転出は、20～29 歳が多く、女性は都内への転出が顕著です。現在東京に住んでいる人で今後も東京に住んでいたいと答えた人は約 8 割となっており、居住年数が 3 年未満なら約 3 割、都内での居住年数が 3 年から 5 年未満になると、約 5 割まで増えます。したがって、市外に転出して 3 年未満までに U ターンさせるような政策を考えることが有効ではないかと思います。これは緊急を要することです。特にこのさぬき市には大学が 1 つ、高校が 4 つもあります。よって、都市部に進学し、就職する方に対して、香川県ならではの奨学金制度の取組が有効かも知れない。県も熱心に取り組んでいる香川県奨学金制度 2012 年、さぬき市ではこれをうわまわるものをつくることを目標とすればいい。大学や高校がある、これほど大きい財産は他にはないように思えます。また、高齢者福祉を担うスタッフを養成する制度をつくってはいかがでしょうか。県は、最大 72 万円還元しましょうというものがありますが、さぬき市はその制度の上をいくようなものをつくっていく必要があると思います。それと、他の都道府県や市町から 2 年以内にさぬき市の介護保険事業所に転職し</p> |
|----|--|

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>て、3年以上従事する場合は、その3年間は住民税、自動車税等生活に密接に係る税負担を軽減する条例制定を検討する必要があると思います。京都に今事業所をつくりました県内の関係施設から48名の職員が出向している。若い人には、「都会を見たい」という希望がある。そういう希望を3年間限定とはいえ積極的にかなえ、3年後には必ず県内のもとの施設に復帰させますよ、としています。都会で学んだ彼らは必ず県内の事業所に戻って力を発揮するので、特典的なものをつくることも肝要かと思いますが。最後、3点目になりますが、長期的にみればさぬき市の高齢者人口はおだやかに減少していますが、市外東京都の都市部の医療・介護の不足はとてつもない状況に今なっています。私は以前より全国に向けて、とにかく地方では高齢者施設は空いているし、職員もいます。だから高齢者の方は来てくださいと思います。しかし、制度的な問題でネックな部分が多くあります。しかしそれは今、整備されつつあります。よって、さぬき市がまず、先んじて手を挙げて、受け入れる体制をつくっていくこと、さぬき市から大阪東京に移住された65歳以上のお年寄りの方々がどのくらいいるのかということもアンケートを取って、老人ホームといった生活環境を整えて、その整備段階で従業員の子育て支援環境も整えれば、非常に長期にわたる有効な施策となるでしょう。ただ、ここ20年間程度の施策にしかならないですが、今回そういう形で1～4の状況の中でそれを書かせていただきました。以上でございます。</p> <p>私の方は、さぬき市の雇用をいかに増やすかというところを含めて提案をさせていただいています。資料で申し上げますと58～69番です。大きく、若い世代の経済的なワーク・ライフ・バランス、地域における女性を含む高齢者障害者雇用、多様な人材を活用するという、またこれからどうやって受け入れて活用できる人材をつくっていくかという観点で提案させていただきます。また、今回提案にあたってさぬき市の中に市の課題と取組でとりまとめられている。基本的には、市の課題と取組をまとめられています。そして、市が雇用の創出の部分に正確に行うためのヒントをあげさせていただきました。総合計画の市民アンケートの中で、雇用の確保に対する優先度は高く、逆に満足度は低いです。これは、市民が市に期待している雇用対策について、満足するような対策ができていないのではないかと考えられます。結果的に我々は雇用対策をしているわけで、市と国が協力して、国ができないことを市がカバーし、市ができないことを国がカバーするといったように、市としてはその辺の雇用対策にも力を入れてやっていけばいいのではないかなと思います。市の総合計画に109くらい提案できる事業というものがありますが、目新しい事業はなかったように思いますが、産業振興となるようなヒント、面白い案が沢山みつかりました。大学なんかの民間と契約して共同や産学連携ができれば、製造業はしかり、農林水産をはじめとし、さぬき市で売れる商品が何かないのかという提案が色々できるようになる。せっかくワイナリー工場があるのであれば、ワインを活用した新しいことをしていく必要があります。さぬき版の商品を全国に売り込み、地産地消だけでないさぬき市に進化していくための経済産業省の補助金や事業があると思いますので、それをどんどん活用するのも一つの手だし、地域の関係者が集まって地域の地場産業を興すために、戦略的に事業を起こして、そのために雇用のための人材を育成する場合、人材をマッチングする必要があります。3年間の間でそれを民間に広く波及させるというような事業で地域実用型の取組の必要があります。それによって2億円の補助が受けられます。こういったものを事業の中でやっていく、商品の開発にお金をかけることによって人を雇用することもできるので、こういった事業を活用してほしいです。将来的にさぬき市は今後、生産年齢人口、労働力人口ともに減っていくと予想されます。企業にとっては、こういった形で人材を確保するかが懸念材料となっており、県外、市外から人を入れ込むというのも大事なこととされています。地域にいる人材の活用も一つ大事で、元気な高齢者もいる。そういった方を活用する。実際、ハローワークで70歳を</p> |
|----|---|

| | |
|----|---|
| | <p>過ぎても働かされている人もいます。シルバー人材センターに登録して、就業している人もいます。知恵を持っている人を社会に呼び戻すように、高齢者の活用も市が中心となって力を入れてはどうでしょうか。女性の活用も重要ですが、そのためにはやはりワーク・ライフ・バランスで、働きながら子育てができるということ、これはこれから結婚を考える若い世代にとって、重要な解決に向けたキーワードになっています。働きながら子育てが出来る環境は、非常に大事なことで、特に女性が子供を産んでも働きつづけられる企業風土を社会全体で培っていく必要があります。そのためには男性も当然子育てに参加するし、女性も子育てしながら社会活動もできるという、そのような働き方をさぬき市が率先して行うことで、いいまちだということで、県外から帰ってくる一つのきっかけにもなるのではないかと思います。さぬき市は身一つといわれるほど優良な中小企業があるので、行政がしっかりとPRすればいいと思います。Facebook、LINE、twitter を利用し、企業の情報発信をする、イベントごとの招待券を刷るなどが重要なのかなと感じた。市は柔軟に考えていただきたいです。これらは、あまり予算をかけずにできます。</p> |
| 委員 | <p>ジビエや6次産業の話がよく出ていますが、はたしてあなたたちはその現場にいますか、ということです。私も関わっていますが、1次からの6次化は本当に大変なことです。この中で一番いいと思うのは、あそびの達人の活用。ここから情報をどんどん発信してもらえると農業者たちも喜ぶし、ラジオを聞いた方からの反応もいい。みんなそれぞれいいことをやってきたが、単発的で継続性がなかった。そして、旧5町の障害がまだ残っている。さぬき市としての将来を考えるのであれば、さぬき市としての取組をどんどんやっていかなければいけない。何か目玉になるような、さぬき市全体が1つにつながっていると感じられるような串が必要だ。庁舎建設の話もあるようだが、そこにうまくつながるような方向でいかないといけない。我々がこれらのアイデアの中からこれをやりたいといってもすべてが実行されるわけではないだろう。我々はあと30年くらいしか生きないかもしれないので、もう少し若い世代で地域の事をしっかりと考えられる世代にも考えてもらいたいと思う。</p> |
| 委員 | <p>交通と観光の視点から考えたのだが、ここに出した35から44までの提案は、30代後半の男女の社員が考えたものだ。大串に関する提案は、具体的な内容が乏しい内容もあるが、それ以外は実現性もあると思う。総合戦略を立てる上で、大山市長は、なにもしなければ自然消滅だが、さぬき市はいろいろな施策を考えてやっていきますとおっしゃった。出産祝い金や奨学金関係の制度は、市の職員からの提案とおもうが、非常に具体的で、卒業したら帰ってこいよ、ということ徹底させるためにも有効だと思うが、この場合、地元企業として受け皿をつくることは非常に重要だと思う。しかし、現実的に、市内の中小企業に就職する人は少ない。この対策を民間企業と行政がともに考えていく必要があるだろう。結婚を機会に高松市や三木町へ転出しないための施策も重要だ。先ほど、なぜ長尾の人口が減らないのかとの問いもあったが、いつまで旧町根性を持っているのかとの指摘も言われましたが、旧町にはいろいろ特徴がある。山手・海手というのはもう死語だが、あえて使うとすると、山手の長尾、分庁舎が建つとの噂がある寒川も長尾ほどではないにしても人口が集まっている様子が感じられる。同じ山手でも、どんな施策を打っても、大川は厳しい。長尾・寒川は、考えようによっては、海手以上に可能性がある気がする。三木ほどではないにしても、新築の着工も多い気がする。子どもが外へ出て行っても、地元に戻ってきて、子育てできる環境づくりが大切だろう。</p> |
| 委員 | <p>初参加で、内容もよく理解できない者の発言でご了承いただきたいです。やはりこういうものは最終的な目標があり、中長期の目標を立てるものだろうが、5年以内に</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>成果を図れるものということで、即効性のあるものはどれか、ということだと思う。基本目標1の職をつくるということだと、この中から新規事業を展開するのは5年以内では難しいので、既存の企業で資金力や開発力があるところをビジネスマッチングではないが集まっていたら、既存事業の延長線上で事業拡大していくことを、市を中心に金融機関、商工会が協力して進めていくことが必要ではないか。地場の資産を活用した、その中でも5年以内を実現してほしいものは何か知恵を出し合い、その関連業者と手を結び、進めていくことが必要だと思います。基本目標2の人の流れをつくるということですが、観光的な話になると思いますが、正直申し訳ございません、私も今回転勤で、正直言ってさぬき市ってどこにあるのと思いました。香川県はわかったのですが、手帳の地図を見て、さぬき市は、高松市と三本松の間だとわかった。岡山もそうだと思うが、全国的に見ると知名度は非常に低いのではないかと思います。したがってネット等をみても、お寺、絵画、農産物など非常に立派な地域資源があるので、そこら辺をしっかりと発信していく。JTB、JRといった専門業者とタイアップして、地域資源を結んでいく。高松市と徳島市に挟まれた単なる通過点にならないよう、情報発信をしていくことが重要だと思う。それから、目標の3の結婚、出産、子育てについてですが、私も大学生、高校生、中学生を抱えていますが、非常に教育にはお金がかかります。もっと小さい子どもであれば、医療費もかかるでしょう。やはり、子育てしやすいと考えると、医療費用の軽減、教育費の問題、その中のいろいろな課題などをピックアップして進めていく。目標4の健康で生きがいをもって、というところは、やはり健康、医療、福祉の充実で、すべての医療が受けられるといった整備も必要だろう。話がまた少し戻りますが、いわゆる海が近く、1次産業が発展していけばいいという話もあるが、例えば先ほど高校が4校あるというお話があったが、授業の中に事業者、企業経営者が出向き、農林水産関係等を含めた職業の素晴らしさを伝えれば、将来大学を出た後に、さぬき市にもどってくるのではないかとあるいはそのままさぬき市で就職することに繋がるのではないかと思います。</p> |
| 委員 | <p>総合戦略に基づいて実行可能な観点でやらせていただきたいと思います。その中から見てみると、私なりに考えますと、企業立地促進条例を活用した誘致、特産品の創出、上がり3か寺を活用した観光の振興、この辺りかという気はします。</p> |
| 委員 | <p>すみません、何番ですか。</p> |
| 委員 | <p>資料2です。上がり3か寺がさぬき市の観光の柱になろうとは思いますが、周辺部で観光資源が何かあれば、それを活用するというのも重要だと思います。住職の協力を得ないといけないと思うが、3か寺が協力し合って講話会のようなものを開くというようなことができないのかと思います。地元の方に限らず興味を持っていただくという点で、効果があるのではないかと考えています。あと、Uターン、Iターンの促進ですが、これは大切だと思っています。Uターンの促進のためには、空き家の活用、条件付きの家賃の助成を考える必要があるだろう。それから空き家バンクだが、さぬき市にはあるのか。</p> |
| 事務局 | <p>県と一緒にやっています。</p> |
| 委員 | <p>貸家が多いし、業者も入っている。あれは我々が求めているような空き家バンクではない。</p> |
| 委員 | <p>以前、小豆島の空き家バンクを見て移住してこられた方がいた。よって、空き家バンクは効果があるのではないかと思います。基本目標3の結婚出産子育てについて</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>は、出産祝い金の創設や、学校の放課後クラブを施設を含めて充実させて、学校が終わってから子どもたちがそこで安心して勉強や遊ぶことができれば、保護者の方も安心すると思うので、その充実を進めてはどうかと思います。基本目標4の生きがいをもって安心する地域社会をつくる、については、地震・防災力の強化は自治会活動によるものだと思う。地域コミュニティの観点から言えば、自治体の加入率がどれくらいあるのかわからないが、できるだけ加入率を高めていただき、防災に対する安心も高めていけばよいのではないかと考えている。高齢者の居場所づくりはどういうことを考えればよいかかわからないが、高齢者の方に集まっていただき、現代版井戸端会議を実現できれば、生きがいにもつながるのではないのでしょうか。</p> <p>今日、来るまでは5年とかを意識せずに来ていたが、まず5年でとなると、短期的に考えると、色々な支援制度をまず使ってお金をつぎ込むことが大事だと思います。奨学金の制度については、これまでも自治体にはお願いしてきたが、給付方式や無利子の拡大などに取り組んでいく必要があると思います。それでも結果がでるのは数年先だと思うが、そこからやっていかなければいけないだろう。その上で、122から124の場合、さぬきの場合結婚祝い金はあると思うが、それに加えて出産多子補助金も考えて取り組んでいかれたらどうかと思う。若干戻り、64番で女性の就労促進については、結婚、出産、育児後の再就職で色々な面で条件が悪くなるがあるので、再就職に当たっての支援、例えば、スキルアップのための教育支援の資金なども必要なのではないかと感じています。あとは、住居の関係が非常に大事なのではないかと思います。空き家の対策も兼ねて、何らかの支援策を設けていくことが大事だと思います。あと、前回、私は、世代を超えたコミュニケーションが大事ではないかという話をしました。直接つながらないかもしれないが、介護施設において子どもと高齢者の方とのコミュニケーションについての提案があったと思う。先般、私の知っているNPOの方も同じようなことをやっていますし、この間聞いた介護施設の方の講演でも、お母さんが働きたいけど子どもがいるので、家族の中で誰がその子をみるかという話になって、職場に連れて来て、入所者の方たちと一緒に子どもを見てもらったという話がありました。それと、労働組合の立場で25、26を書かせていただいたのだが、26は短期の取組ではなく長期の取組です。中小企業では独自で社員教育などに取り組むのが難しい場合、商工会が1つのきっかけになると思うが、企業連などで人材育成や福利厚生、イベントをやっていき、労働生産性を上げていく取組もあってもいいのではないかと考えている。この場合、やはり従業員の連携も欠かせないので、経営に資する話を対等にやっていくことが重要ではないかと考えています。労働生産性を上げて、労働者も企業も双方にwin-winの関係をつくって労働条件を少しずつ上げていく取組を行って、地域貢献に繋いでいくということを長い目でみて行っていくことも大事だと思っています。そしてこの企業連内では、最低賃金を上回る賃金制度や子育て支援策を行っていくという風になればいいと思っています。今申しました通り、5年の期間と、もう少し長い期間に渡ってPDCAを回していく必要があると思っています。</p> |
| 座長 | <p>有難うございます。今日、お休みの委員からは前回、ポケットパークという小さい子どもの遊び場があればお母さん同士の交流もできるという視点、事業者同士で悩んでいることを打ち明けあって勉強会ができるようなことも産業を発展させる面で考えればもう少しそのようなことに取り組めるような体制があればいいのではないかとのお話があったと思います。高齢化と人口減少が同時に進む中で、問題も複合化してきている。次、残そうとしてもその地域で人がいなく、祭りもできない。縄のように原因が絡み合っているので、複合的な対策、やり方になることが多いのかなというように、敵が手強くなっているような状況だと思います。市ができることは</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>沢山あるが、あまり市の補助金に甘えてしまってもいけないが、カンフル剤としては、事業費補助金の活用もいいような気がする。個人的な意見としては、さぬき市は、市内外へのアピールがなかなかできていないと思う。市民も知らない。私も広報紙を見るのですが、もっと工夫できる点もあると思うので、「市民広報」もあまりできていない。市民が（市政に）関心がないのも理由だと思うが。広報する情報としては、成功例、うまくいく例を伝えと元気が出るのかな、と思いました。観光などで持っている資源を有効活用しようということですが、圧倒的な優位で感動があってストーリー性がある、ということで、私たち素人が考えるよりも、プロにコーディネートしてもらおうほうがいいのではないかと思います。あと一つ、人口減はさぬき市だけの問題ではなく、住むのはさぬき市、勤務するのは高松市、逆もあろうかと思いますが、やはり、生活のスタイルは、地方行政区域をとっくに超えて行われているだろう。地元にしかな優位に立てないものを残す、それは何かということ。なくなってしまうと何もなくなる。広域で考えると県とかのレベルの話になっていくので難しいが、行政区域内に目を向けて、ポイントを絞って何かに目をつけてやっていかないといけないと思います。最後に、その他ですが、事務局から何かありますか。</p> |
| 事務局 | <p>今後の流れですが、さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略は今、骨子素案という形にしているが、5ページがいわゆる骨子となっていて、この後ろに戦略の中身を作っていく際のイメージを書いています。今、他の自治体でも総合戦略の策定に取り組んでいるが、通常、こういう計画をつくるときには、担当部署に仕事を考えてもらい、とりまとめ、有識者に御意見をいただくという形が多いのですが、いろいろとお話にもあった通り、縦割り行政にもいいところ、悪いところがあるのですが、さぬき市の総合戦略の策定においては、部署に関係なく職員や有識者の方からご意見をいただいて、まずはそのアイデアの中から、何かいいことがないかという視点をスタートとして作り込んでいく流れにしています。今日のご意見や、本部会議の意見も伺いながら、今月から骨子素案を固めまして、各担当課とヒアリングを行い、現実的な施策の流れを考えながら、最終的な戦略策定につなげていきます。</p> |
| 委員 | <p>この中から番号でこれとこれ、というように絞るのではないのですか。</p> |
| 事務局 | <p>全部を羅列するわけにはいきませんが、関係課と協議しながら、いただいた意見をできる限り反映していく方針ですし、それでも、この骨子素案に書かれているもので、なくなっていくもの、名前が変わっていくものもあると思います。次の段階に向けてこちらで総合的に加工して骨子としてまとめていきたいと思っています。次回の会議では、戦略素案の内容などについて審議していただきたいと考えています。</p> |
| 座長 | <p>色々ご意見いただき、有難うございます。今日のご意見から、具体的に不足している部分も知ることができました。今後5年間でどのように具体化していけばいいのか、そういったところも今日の意見を踏まえながら戦略に書き込んでいければいいと思います。</p> <p>次回は8月中旬か9月上旬ぐらいを予定しています。有難うございました。</p> |

< 閉 会 > (17:00)